

厦門復興建設譜



我が忠勇なる海軍將士や
復興委員の涙ぐましい努
力により宣撫、復興、建
設事業は日を進んで進
し今や難民の復興する
の五萬、ラヂオの放送
に、鷺江戲院（活動寫眞）
の上映に、死の街は歡樂
の巷となり市民の心は逸
る。更生厦門の健かな息
吹きが聞えるやうだ。

X X X

更生厦門！歡樂厦門！と
いつても水路一つ隔てれ
ば抗日空気が充満してゐ
る。晝夜を別たぬ軍歩
哨の強まぬ注視こそ更生
厦門を守る第一線であ
る。



↑ 昔ながらの宴の中更に生るる門
 街頭吹和やかな日支親善
 ①公園に於ても←

↑ ②店頭に於ても
 ↓ 大衆の面には喜びの色が溢る
 住民は安居樂業を望む往々

↑ 厦門とコロロン間の上海
 交通は日に増し繁榮する

南支に於ける外政(二)

總督官房外事課

その二

「南支に於ける外政」と題しまして、私は昨日の講演で、國民政府と南支との關係をお話して、今次の支那事變勃發迄の外交的經過を御説明申上げましたが、御記憶を新たにして頂きます爲に、尙一應一書式に申上げますならば、國民政府は畢竟するに南支政權であると云ふこと。國民政府が支那を統一するが爲にソ聯邦の力を借りたと云ふこと。ソ聯邦の力を借りたが爲に共產黨の思想が國民黨に浸潤したと云ふこと。從て國民黨は外國に向つて革命外交を行つたと云ふこと。國民政府の未だ勢力なかりし時代には此革命的排外行爲は英國に向けられてゐたが、國民政府が全國を統一するに至つてよりは我日本に對してのみ銳鋒を向けるに至つたと。これが爲に滿洲事變が勃發したと云ふこと。滿洲事變後は國民政府の排日行爲は益々激化し徹底し遂に今日の支那事變を捲起したと云ふこと。をお話致しました。そこで今日は第二の項に移りまして、南支を中心として見たる支那と諸外國との關係に付て

申上ます。

南支は地理的關係上早くより支那外國貿易の中心地となりましたが既に十六、七世紀頃より葡萄牙人が澳門に來りて東洋貿易に従事し、次で佛國、英國、米國等の商人が廣東に來り外國貿易は益々殷盛を極め絹、茶等の重要品は普く歐米に輸出せられたのであります。我國の關係は弘法大師、阿部仲磨時代は別と致しまして我戰國時代本邦船は福建地方一帯の沿岸に出沒して倭寇として、非常に内外より恐れられた事は普く知らるゝ處であります。徳川幕府の鎖國政策に依り我國と南支との交通も次第に稀薄となり明治となつて臺灣征討の壯舉ありて俄然我朝野の視聽を集めるに至るまで殆ど此の地方は閉却せられてゐたのであります。次で日清戰爭の結果臺灣を領有して以來日本と南支那間には密接な政治經濟關係を生じたのであります。以下簡單乍ら南支に關する支那と諸外國との間の條約關係を申上まするに、先づ日本との間には明治三十一年清國政府の時代であります。所謂福建省不割讓條約であります。更に大正四年には支那政府は福建省沿岸地方に於て造船所、軍用貯藏所、海軍根據地其他一切の軍事施設を爲すことを他國に許さないこと、尙支那政府自らも右各施設をやらぬ事を約束してをります。

次に英國は葡國を驅逐して漸次南支一帯に商權を確立して南支に於て最優勢なる權益を手中に收めたのであります。即ち一八四二年南京條約に依り香港、九龍を領有し、一八九四年には緬甸との國境を劃定して同地方に於ける陸境貿易上の特權を享受し、一八九八年には楊子江沿

岸不割讓に關する約定を爲さしめ、其他粵漢鐵道借款、廣九鐵道借款、湖廣鐵道借款（尤も是は英、米、佛、獨、銀行團として共同出資）之等の鐵道借款を以て南支の經濟的利益を獲得したのであります。

次に佛蘭西は東京を經略して一八九八年には廣州灣を租借し且東京より雲南に至る鐵道敷設權を獲得し、亦東京隣接の支那諸省不割讓の協定を締結せしめ、佛領印度支那と支那との國境貿易に關しては陸境貿易の特典を與へしめ、亦一八九七年の協定に於ては海南島不割讓を約せしめ、一八九五年の通商條約補足協定に於て雲南、廣西及廣東省に於ける鑛山經營に關し亦一九一四年の取極に於て廣西省に於ける鐵道に關し佛國資本及技術に優先權を與ふべき事を承認せしめたのであります。而して一八九六年の英佛宣言は英國が一八九四年の緬甸及西藏に關する條約及佛國が一八九五年の通商條約補足協定に於て雲南、四川兩省に於て支那より許與せられたる通商上其他一切の特權利益は兩國國民又は人民に共通に均霑せしむべきことを確認したのであります。

南支に於て諸外國殊に英佛兩國が一般通商條約上の權益以外に幾多の特權を享有するに至つたことは前述の通りであり従つて同地方に於ける英佛の利害は最も深いのであります。是が今次の支那事變に於て英佛兩國が南支の權益擁護に關し最も神經を悩ます所以であつて過般來支那に對する武器供給に佛領印度支那を通じ、又英國が緬甸及香港を通じ莫大の援助を爲しつゝあり、亦佛國が雲南に於ける鑛業利權を目的として對支借款を許與せんと策しつ

あるのも皆斯る自己の利益を擁護乃至増進せしめんとする手段に他ならないのであります。最近佛國は日本海軍の海南島占據説に對する「ヂエヌチア」として前述の海南島不割讓條約に言及し且一九〇七年の日佛協約（之は兩締約國がアジア大陸に於ける相互の地位及領土權を保持せんが爲め兩締約國の領域に近接せる支那の諸地方に於ける平和及安寧を確保するに協力すべき事を約せるものであります）こう云ふ條約を援用して日本の右行動は條約違反であると宣傳し且英國と協同して右の如き日本の行動に對し警告を聲明したと傳へられてゐますが、海南島不割讓條約は佛國と支那との協定であつて日本を拘束するものでなく又右の日佛協定は日本の支那に於ける自衛權の行使を妨ぐるものでないのみならず日本が支那と戦争状態にある今日かゝる協定の適用は不可能の状態になつてゐるのであります。佛國はまた最近南支那海にある西沙島を占領した云々のニュースがありました。我國と致しましては、此島は日本人が一番先に先占してをり現に權益を持つてをるのであります。佛國のかゝる行爲を承認する筈はなく、我外務省は佛國に抗議を提出したのであります。斯様に南支那海は英佛等諸國の利害關係が錯綜してをりますから國際關係上色々間敷い事が起るのであります。

第三に支那事變と國民政府の外交に付て述べて見度いと思ひます。支那事變勃發迄の國民政府の外交に付ては第一の項で述べましたが、支那事變勃發後國民政府は如何なる外交を用ひたかと申しますれば先づ第一に國際聯盟を通じて日本を抑へんとしました。次にソ聯邦、英、米、佛等の列國をして協同又は單獨に日支紛争に干渉せしめんとしたのであります。國民

四

政府は日本の侵略行爲を理由として聯盟に提訴し聯盟をして對日經濟制裁を發動せしめやうと試みたのであります。御承知の通り聯盟はエチオピア問題に關しまして對伊太利經濟斷交を決議しまして伊太利に對する金融其他經濟的協力を拒否したのであります。斯の如き經濟的斷交も經濟封鎖を伴はない限り大した苦痛を被制裁國に與ふるものでないことは伊太利の場合に於ても判明するのであります。然るに全面的經濟封鎖即ち物資供給の禁止の如きは直ちに戦争を意味するものであつて實力行使殊に聯盟内の大國が戦争を塔して之を實行せざる限り行はるゝものではない、現に伊太利は聯盟の石油供給禁止制裁に對しては戦争を以て應ずべしと威嚇しました。之には英國も屈服して石油制裁を敢てせなかつた事實があるのであります。殊に米國が聯盟外にあり獨、伊が日本に好意を有する現狀に於て聯盟の經濟制裁は大して效力のあるものとは見られないのであります。茲に於て聯盟も日本に對し經濟制裁を發動せしむるが如き事を避け面目上日本の行動を以て九國條約及不戰條約違反なりとの決議を爲したに止るのであります。そこで支那は英國を動かし客年十一月、九箇國條約會議を「ブラッセル」に招集する事に成功したのであります。右會議に於ても伊太利は日本を辯護するの立場をとりそれに肝心の日本が右會議に出席する事を拒絶したから結局日支紛争を處理すべき何等實效ある措置を採る事が不可能となつて單に日本を侵略國として非難した空文の決議を採擇したに過ぎなかつたので結局前に述べましたような集團的行動に依る日本抑壓政策は何れも失敗に歸したのであり

五

六

ます。次に第二の歐米列強に依る干渉であります。支那はソ聯邦及英國の支那に對する好意を利用し先づ英國に働きかけた、英國は事變の初期に於ては米國を誘つて日支双方に對し和平勸告の協同動作に出でんとしたが米國が之を拒絶せる爲め英國は單獨に和平斡旋を試みました。處が右英國の和平勸告にはお構なく事變はどん／＼進展して戦争が上海に擴大すると英國の輿論は俄かに硬化して自分の手に火がついた様に今度は日支双方に上海方面の撤兵を要求して來た。之は客年八月十九日頃の事です。日本が右要求を拒絶し、戦禍が益々擴大して駐支英國「ヒウグッセン」大使の負傷となるや英國政府の對日態度も強硬となつて參り日本に對する抗議の調子も手硬いものとなつてゐます。此の時も英國は米國を説いて共同動作に出でんとしたやうであります。然し米國が乘つて來ないので今度は手を代へて九箇國條約會議招集と云ふ手段を以て前に述べた様に米國を引ばり出した譯です。米國は何時も英國の對日協同動作を拒絶しては居りますが之は米國が日本側に味方すると云ふ意味ではなく、否米國は獨自の見解に於て日本の行動を非難してゐるのです。即ち平和及國際條約の原則維持といふ事によつて日本の行動を縛らうとしてゐるのであります。米國は極東に於ける利害は英國に比すれば極めて少い、それを極東に於ける權益擁護といふ個々の問題を取上げて深入し米國が紛争に捲き込まれる事を欲しない、即ち平和の原則が危殆に瀕し其爲に米國自體の存立に危険を及ぼすやうになり、これではならぬと米國の輿論が沸騰し戦争せねばならぬと云ひ出す迄は米國政府は戦争の危険を誘致するやうな行動には出ないと云ふのが持論である、然し右原則維持に貢獻すべき協力には

何時でも積極的に支援を惜まないと云ふのである。英國としても極東に於ける利害は大きいが然ればとて之を英帝國全體より見るときは小さいのであるから英帝國の瓦解を堵して迄も英國單獨に戦争に訴へるとは到底想像し得ないのである。英國は軍備殊に海軍の大擴張を圖つてはゐるけれども之も急場の間に合ふものではない、殊に歐洲の不安を前に置いて到底動き出せるものではない。英國の頼とするものは常に米國の海軍なのであります。英、米の事情は以上の如きものであります。から客年十二月英國軍艦「レデーバード」號砲撃及米國軍艦「パネー」號爆沈事件が発生し日本と英米間に危機を孕んだのであります。元より帝國の迅速且誠意ある外交交渉にもよりますが此の危機を未然に防ぐ事が出來たのであります。英國は其後日本軍の南京占領、「イーデン」外相の辭職等に依り稍々其の態度を緩和し東洋に於ける外交方針を再検討することとなつた模様で新任「カー」駐支大使を送りその間歐洲問題に力を注ぎ極東方面は稍々中休みと云ふ状態となりました。米國も「パネー」號事件解決後は稍々輿論の平靜を取り戻しました。米國には孤立政策論と云ふ考がありますが之はアメリカ大陸以外の地域の紛争から米國は手を引くと云ふのであります。此等孤立派の反對運動もあり目下極東の事態を警戒を以て注視中の模様であります。次に支那のソ聯邦に對する工作であります。支那はソ聯邦の武力援助を求むべく孫科等をモスコに派遣したのであるがこれは目的を達せず、ソ聯邦の内情より見ても支那が宣傳してをるやうな援助は得られないものと私は信じてをります。

要之集團的制裁又は英、米、ソ聯邦等の對日干渉の發動を目的とせる國民政府の外交は先づ

七

失敗に歸したと見るべきであります。そこで國府は最後の手段として長期抗戦に訴へることになりましたが爲に英、佛、ソ聯邦等に對しまして武器彈藥、軍費の援助を求めたのであります。之には支那は稍成功したのであります。然し之も畢竟共產黨の術中に陥つたのであつて長期抗戦の結果支那は益々悲境に陥るのであります。殊に支那民衆は氣の毒である。軍事的には漢口陥落を以て國民政府は没落し、經濟的にも其の資源の大部分を喪失し、外國借款も出來ず、又華僑の獻金も望少くなり、結局政府要人の私財又は財閥の私財を提供しなければ武器も買はず、財政は破綻して戰爭續行は不可能となり遂に其の政府は共產黨に抑へられその軍隊は共產軍化して山岳地帯に落ち行く事は免れ難い運命と思ふのであります。その時歐洲諸國にして支那國民政府を援助せる國家が目も醒すも既に遅く西北、西南地方一帯は「ソ」聯邦の勢力圏内に入り西藏等もまた危険となるであります。それを未だに蔣政權を以て支那の統一を維持し得べき唯一の政府であるなどの見解を持するとせば甚しき誤謬又は偏見と云ふべく英國が一九二九年以來國民政府を支持し且所謂浙江財閥又は孔祥熙、宋子文等一派との腐れ縁にづながるゝとせば今やその見解を再検討すべきであつて、蔣政權に依つて英國權益の唯一の保護者と爲すが如きは飛んでもない間違で殷鑑遠からず彼の一九二七年當時南支一帯に於ける排英熱を見よ、又南京事件、上海事件、漢口事件等を想起するが宜しい、國民政府の遣口は何れも「コミンテルン」の遣口であつて最近の「スペイン」内亂に於ける例を見てもその狂暴性は分るのであります。事態の推移を見るに敏き英國は必ずや近き將來にその極東政策を轉換するもの

と思はれるのであつて此點に於て今後の本邦の態度は最も大事であると思ふのであります。英國とは目下東京に於て會談中の由であるが日英間には幾多の懸案ありその主なるものでも占領地域に於ける英國人財産處理及英國人の往來、海關問題、英國の商權回復、揚子江航行、上海租界、北支に於ける機會均等、法幣下落問題等は是が調整には容易ならぬ難關があるのであります。戦時に於ける外交は殊に最も慎重に當らなければならぬのであります。以外の重大事件を惹起することは屢々過去に於て其の例があるのでありますから、注意の上にも注意し、念に念を入れて外交の衝に當たらねばならぬのであります。かくして他の妨げなくして帝國不動の方針なる今次聖戦の目的を貫徹しなければならぬのであります。以上をもちまして私の「南支に於ける外政」と題するお話の大體を終つたのであります。之を要するに南支政權たる國民政府の外政は徹頭徹尾共產主義に禍せられ日本を敵とし東洋の平和を害し結局自國政府の滅亡を來し自國民を徒らに塗炭の苦しみに陥らしめたと云ふことに歸著すると云ふ一言に盡さるのであります。

●●●金報國運動に就て●●●

臨時情報部

東洋平和の基礎を築く爲に彼の暴戾なる蔣介石を徹底的に膺懲し、今や輝く皇軍の威力は偉大なる戦果を収めつゝある。これ一重に御稜威の賜であると共に、忠勇なる皇軍將兵の身命を賭した勇戦奮闘の然らしめた所であつて、銃後の吾々國民は之に對し絶大なる感謝を捧げ、誓つて赤誠披瀝の一途に邁進すべきである。支那國民を十分に覺醒せしめて、眞の東洋平和確立の爲に、日滿と提携して行くべき、新支那國を建設し、護國の英靈に酬へべき責任の重大を感ずべきである。

そも、近代の戦争は砲煙みなぎる戦場だけが戦場ではない。銃を取り剣を振ふ人々のみが戦士ではない。航空機の發達した今日、一旦戦争が始つたからは、我國士全體もまた戦場なりとの緊迫した觀念を持たなくてはならない。殊に近代戦は科學の發達に伴ひ、莫大なる物資と金錢を必要とするのである。故に身に銃剣を帯びずとも、田を耕す者も、絲をつむぐ者も、男女老若、悉く戦士なりとの自覺の上に立たないならば、この未曾有の時局を打開することは出来ないのである。即ち今日の戦争は固より戦場に於ける武力戦によつて勝敗を決するものであるが、それと併行して經濟戦思想戦外交

戦もまた實に有力なる素因をつくるものである。而して武力戦は皇軍の將兵が擔當するのであるが、思想戦外交戦殊に經濟戦は一般國民の受持つべき重大責務である。吾々は身命を君國に捧げて奮戦して居る將兵と一心同體となつて、物心一如の國家總動員の體制を整備し、よつて以て最後の榮冠を吾々の子孫に残すべき光榮ある使命を有するのである。

經濟戦の戦士たる一般國民の奉公の道としては愛國貯蓄とか消費節約とか公債買入とか種々様々あるが、特に金を賣却すると云ふことは、最も手近な且つ有力なる奉公の道である。

何故金を國庫に賣却する必要があるか。我國は幸に戦争の爲に國民の食料不足は感じないのであるけれども、軍需資源の大部分は外國から輸入しなければならぬ立場にあるのである。食料といつてもその基礎とする肥料はまた之を外國に俟たなければならぬ。殊に戦が長期戦となると莫大なる物資を繼續して外國から輸入する必要がある、従つて輸入超過は免かれぬ。この輸入超過の對策を何も講せず、このまゝ放置するならば、爲替相場は下落し、國內の物價は騰貴して國民生活に非常なる脅威を與へるに至るのである。

この物價騰貴の奔流を遮り、一面國民生活の安定を計り、前線將士に後顧の憂をなからしむると共に、他面軍需品の供給を潤澤にし、戦果を完全に收めるには爲替相場を維持するといふことが絶對的に必要なのである。

而して爲替相場を維持せんが爲には、輸出品を獎勵する必要があるが、生産力を擧げて軍需工業に邁進してゐる今日、これに多大の期待は懸けられない。又外資輸入の方法があつても複雑なる今日の

國際事情下に在つては之も亦望めない。従つて産金獎勵と共に、國民の死藏金を國家に集中し金を豊富に保有するといふことが最も緊急事であり最も特效的である。斯くして金によつて對外信用を高め、爲替相場を下落させずに外國から物資を輸入することが出來、國防能力が非常に強大となるのである。

次に金の現在一匁十四圓四十三錢七厘五毛といふ相場は、世界的に見ても相當高い値段である。又我が國は滿洲國北支中支の新政府と互に手を握り、生産力擴充を計りつゝあるので近い中に外國から物資を仰がずとも、必要なものは殆ど生産出來る様になるのであるから國際貸借決済上金は左程必要としなくなり、これによつても金は現在の價格以上に騰貴するとは考へられないのである。従つて此際金を賣却するといふことは、愛國心は別としても、經濟心から云つても決して不利ではない。それに賣却して得た金額を貯金すると利息もつき、しかも國家に對して非常な奉公になるので、所謂一石二鳥主義になるわけである。

非常の際には非常の覺悟を要するのである。即ち平時ならば一般國民が金を所有するといふことは必ずしも排斥すべきものでなく、我國の富を増大する所以であるけれども今日では個人が持つてゐるといふことは國家の爲に役立せることも出來ず時局を認識しないこと甚しいものである。併し永年大切に持つて來た金又は親の形見である金を賣却するといふことは或は金に對する愛着の斷ち難い思ひもするであらうが戰場に於て命を棄て、戦つてゐる勇士の身の上を思ふならば金の賣却位が何んであらうか。勇士は人の父であり夫であり、又は子である。彼は代へられない生命であり、此は代へられ

る金に過ぎない。相當な値段で賣却し、それに他日又金を手にし得ることを思へば金の賣却は實に容易な犠牲であり、生命を的にせる將士の前で金に對する愛着心を云爲して義理が立つてあらうか。

一體戦時に金を政府に賣却すると云ふことは世界各國が既に實行したことである。例へば遠く歐洲大戦の時獨逸や英國等は戦争勃發と共に大々的に金の賣却又は金獻運動を開始したのであるが、一般國民が競つてこの愛國運動に参加したので忽ちの間に獨英兩國政府の金保有高は戦前の二倍に増加したのである。又近々は伊國のエチオピア戦争の時も斯の様な愛國運動を起したのであつて我國が今初めて企てた所では決してないのである。

而して今日我國が民間から金を集めるのは既に滅亡に瀕して居る蔣政權との戦争の爲のみに直接必要なのではない。我帝國は支那の排日政權を打ち破つて東洋の平和を確立し東洋民族の永遠の幸福を護らねばならない責任を持つてゐるのである。其の爲には東洋の平和を亂す様な如何なる權力をも排除せねばならぬ軍事的理由があると共に、皇軍の勞苦を銃後の國民にも頒ち、金に對する愛着心の如きは此の際一擲して國家の目的に協力せしめると云ふ國民精神總動員に於ける道德的理由が含まれてゐるのを忘れてはならない。

前述の通り政府に於て金を豊富に保有することは特に戦時に於ては非常な強味であるから吾々銃後の國民は一匁でも半匁でもたとへどんなに少量でも國家の爲に此際金を賣却する必要がある理であつて、全國民の金が集れば積り積つて莫大なる金額になるのである。殊に本島人の習慣上相當量の死藏金があると想像されて居り皇民化に邁進しつゝある今日、島民の覺醒と緊張とはよく數千萬圓の賣却

高に達せしめることも恐らく不可能ではないと思ふ。

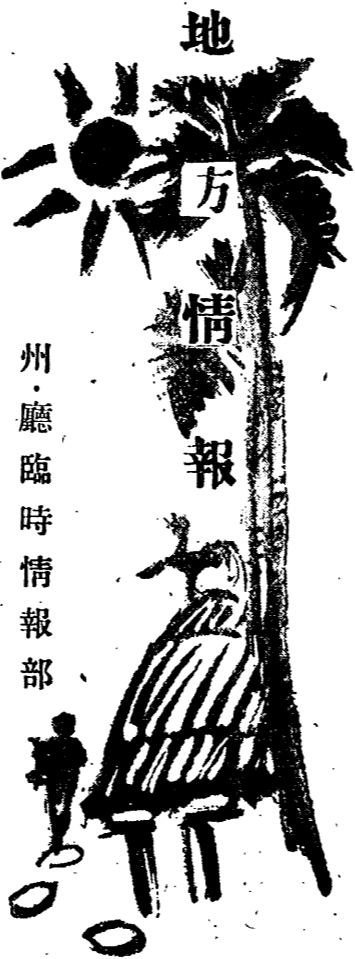
斯くして金を國家に賣却することは我が國防能力を、より一層増大ならしむることとなり、延いては彼の暴戾なる蔣介石政權の滅亡を早め、外國の野望を末前に制壓し、以て今次聖戰終局の目的である所の東洋永遠の平和確立の爲大なる使命を果すことになるのである。

斯う云ふ意味を確つかり認識し、今や全島各地に於て幾多の金賣却美談を繰込まれつゝある今日、人後に遅れず此の金報國運動に、競つて參加して帝國の歴史的大事業に協力することは、日本人として當然の責務であると共に、誠に最大の光榮であると云はねばならぬ。

因に臺銀の金買上状況については去る六月二十日買上開始以來八月一日迄の買上量は一萬二千餘件五十三萬二千餘元二百十餘萬圓に達してゐる。その各本支店の取扱ひは左記の通である。

記

臺北本店	四、七四九件	二一九、四一一、二八五	臺中	三六〇	一五、八一三、五五
花蓮港支店	一、八三二	五三、五九〇、〇〇	澎湖	七四六	九、〇四八、三一
嘉義	九八一	三八、三六四、七〇	彰化	一五一	八、五八九、六〇
臺南	五六七	三七、二九一、二二	臺東	一七七	六、五二二、九〇
屏東	五七九	三六、〇九〇、四三	桃園	一八九	六、〇三〇、六〇
高雄	六一九	三五、〇八二、四五	南投	一〇六	四、九九四、七三
新竹	五七五	三三、〇九三、四二	宜蘭	一一〇	二、八七一、六九
基隆	二二三	三三、八〇八、二〇	淡水	一六一	二、七三三、五八



州廳臨時情報部

銃後の高砂族

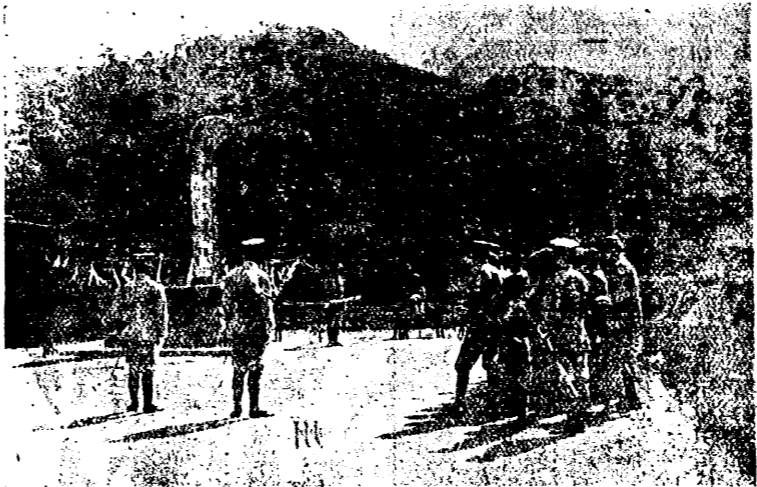
新竹州臨時情報部

一 往時の兇蕃、今は良民

國恩を感じ、「謝恩之碑」を建立

新竹州下の「タイヤル」族を謂へば大正十年頃迄は其の兇名を轟はれたものであるが先人の尊き犠牲、關係官吏

の熱誠なる努力と當局の施政宜しきを得て漸次其の弊風陋習を脱し啓蒙の域に達しつゝ、あるこゝは理蕃政策上洵に慶賀に堪へざる所にして、殊に今次事變勃發以來全島各蕃地にも何等異變を認めざるのみならず反て國防獻金に、慰問金の贈出に、勞働奉仕に銃後を護る國民の一員として皇民化の實を擧げつゝあり、最近又州下大溪郡蕃地ハブソ社の高砂族が安居樂業の國恩を感謝する爲「謝恩之碑」を建立したるこゝは同族進化の一證左にして同胞の等しく意を強うする所である。



(新州大州溪郡) つ建「碑之恩謝」象表の化民皇族砂高

此の「謝恩之碑」はすべて同社高砂族の赤誠によつて生れたもので、工費九十五圓は全戸數二十五戸、一戸當り三圓八十錢宛の離出になり、工事及び設計は高砂族の勞力を以て計畫を樹て、臺石及び碑石は自然石を以てなし、直徑七尺、高さ四尺の四角形土臺を「コンクリート」練積みなし、其上に臺石を置き高さ十三尺、幅五尺の碑石を建てたものである。

除幕式は七月二十一日午後三時より、大溪郡蕃地ハブシ社に於て、高本警察課長、角板山方面外勤主任、角板山、ラハウ兩監視區監督、職員九名、高砂族、角板山、ラハウ、シツケイ各社頭目並にハブシ社全部(男女計二〇名)多數參列の下に、皇居遙拜、皇太神宮遙拜、工事報告、除幕、警察課長告辭、來賓祝詞、高砂族宣誓の順序にて盛大に舉行され、午後四時閉會した。

尙、高砂族總代宣誓要目は次の如きものである。
「吾等蕃地居住の高砂族は皇國民として鼓腹擊壤太平を謳歌するこゝを得るは之皆偏に廣大なる陛下の御仁慈の御蔭にして即ち國恩に外ならず

於茲社衆相圍り此碑を建立し謹みて感謝の意を表し併せて吾等は固より吾等の子孫たるものを永くへに國恩の萬分の一にても報はしめんこゝを堅く誓ふものなり。」

又式後ハブシ社頭目マライノカン及び同社勞力者ピラオセツは交々次の如き感想を述べた。

マライノカン

「愈々本日只今ハブシ社の「謝恩之碑」の除幕式を舉行せられまして課長さんからお話がありました。其内に自分は字が下手であるが汝等の真心が自分の書かんとする筆の先に籠つてこんなに立派に書くことが出来たのであるこの言葉がありました。が考へて見るに私共も話を聞いて初て成程感じたのであります。何事も真心を以てやれば立派に仕事を爲し遂げ得るに感じました。此の上は官の御指導を守り謝恩之碑を中心に毎朝感謝を捧げつゝ、農事に勵み良き日本人となる決心であります。」

ピラオセツ

「只今濱尾警部さんから昔に現在のタイヤル族

の比較のお話がありました。が實際お話の通りであります。今の話を聞いて私は最も感心し、想ふ一人であります。當初水田開墾を指導された時私は第一番に反對して米を食へたなら「マライヤ」に罹る云つて水田開墾に對して官に對し怨さへ抱いたのであります。然るに今日では此際立派な水田も出来年中米を食へ残餘は賣却して貯金して居る様な次第で、今更ながら官の御指導を有難く感じ一憲奉公の誠を致さんこ考へて居るのであります。」

二 戦死せる舊師の遺家族に對し

金一封を贈れる感心な山の青年

中文方面に出征中七月七日梅蘭黃岳附近に於て名譽の戦死を遂げたる竹東郡勤務巡查沼田勇氏が出征前送りたる書簡に深く感謝し同氏生前蕃地勤務中の指導に感謝し無名の山の青年として金一封を添へ沼田夫人へ赤心籠れる左記申文を送りたる者あり、この烈々たる真情を吐露した山の青年こそは竹東尋常高等小學校を卒業し現在井上教育所に於て教育擔任補助として教化に従事中的前川勳君(高砂族)なるこゝが後になつて判明した。

謹啓
 磨礫の外敷しき此の頃皆様其の後御變りはござりませぬか御伺ひ申上げます。

扱て昨年の九月暴支膺懲の聖戦にと暗れの鹿島立ち致されまし
 た御主人様には赫々たる御勇名を留て、幾百里幾山河を越えて
 異郷の彼方で名譽の御戦死をなされたとの御事男子戦場に
 死所を得て武人の譽これに過ぐるものは無いと言へ誠に痛惜哀
 悼に堪へません。

謹みて敬申の意を捧げ申します。
 想へば御主人様の御在職中は日夜の區別なく無智な私達を親切
 に御世話下さいました事は忘れんとするも忘れる事が出来ませ
 ん。日を迫うて皆様に對する恩慕の念が湧いて参ります。
 私は母國人の皆様と数多くつきあつて純真に清く正しく起ち、
 日本精神を體得したのは私の念願でございます。

私は皇國日本に生を享けて來ましたことを何よりの誇りとして
 感謝し一視同仁の御聖徳に浴することの幸福さを最も強く思ふ
 ものでございます。そして常に國恩に報ゆることを念願に置いて
 昨年暮れ軍夫を志願しましたがゆるされず血を湧かし肉を
 躍らせ志願した私は本當に残念でした。そして大陸の彼方に降
 魔の劍を振つて暴支膺懲の聖戦に活躍して居られます皇軍將士
 が羨ましく思はれます。
 日本人だと口ぐせに言ふ私達は實は何にもならないのでござい
 ます。領家本島に始政を施されました明治二十八年六月十七日

一八
 彼の時より私達の皇民化は始つて参りましたのに四十有餘年の
 今日今以て眞に皇民化されてゐないことをなげくものでござい
 ます。

自分は男子として生れて來て眞實でしたら皇軍の一員として聖
 戦に参加してゐなければならぬのを思ひます時は何かしら胸
 を打つものがあります。そしてはやる心をしづめて自分の進む
 べき道を教へてくれて奮起をしてくれるものはこれぞ一生忘れ
 ることの出来ない御主人様の御出征の際に、「時方に擧國一致時
 難克服の時貴下も亦高砂族の先覺者として同族の躍進的啓蒙を
 成就せしめざる重責あり、思ふに貴下の任務は軍の庭に立ち草
 薙す屍となる私共より重しとも決して輕からず」と送られまし
 た肺腑を衝く御手紙でございます。私は此の萬金に勝る御言葉
 を日々師となし職地へ行かれる前におとりになりました御寫
 眞を家宝として一日も早く國民の神聖なる三大の義務を果す眞
 の帝國の臣民となることに努力致す覚悟でございます。

では時節柄御身を御大切に御子供様の御成長を神かけて御祈り
 致して居ります。
 それからほんの少しで御座いますが同封の金一封は山の青年よ
 りの赤心だと思召して御主人様の御靈前に御供へ下さいませ
 拙い文筆で御座いますがつゝしんで御悔み申し上げます。敬具
 八月一日

沼田 奥一様
 井上無名山の青年より

支那事變に關し 執りたる措置

臺南州臨時情報部

一 皇軍將士の慰問

聖業達成のため一意勇奮健闘せられつゝある皇軍將兵
 各位に對し舉州一致其の士氣を鼓舞するに共に赤誠以て
 慰問の萬全を期すべく、臺に州下各郡市より募集せる慰問
 金に依り本州に於て慰問品蒐集の上七月二十五日臺南實
 踐女學校に於て、七月二十六日臺南第一高等女學校及幸
 俱樂部に於て七月二十七日臺南第二高等女學校に於て夫
 々學校職員、生徒並に愛國婦人會員、國防婦人會員の勤
 勞奉仕作業に依り慰問袋五千九百二十七箇を調製し別に
 遮蓋器五十箇と共に〇〇部隊〇〇隊出征將兵及軍夫宛送
 付し以て其の勞苦に對し舉州感謝感激の赤誠を披瀝する
 こととせり。

二 臺南州國防議會獻金の指導

臺南州國防議會を指導し昭和十三年八月十日午前十時
 より本州會議室に於て役員會を開催せしめ昭和十二年度
 臺南州國防議會事業及決算報告の後昨年九月より本會に
 於て州下各戸より募集せし冗費節約に依る國防獻金並に
 本會取扱に係る國防獻金處分の件(別表の通)及時局諸般
 の情勢に鑑み前回の獻金募集要領により州下各戸より國
 防獻金募集實施の件を附議し全會一致原案の通決議せ
 り。

國防獻金收支一覽表

別口國防獻金

市	郡	別	獻	金	額
臺南	市			二、三、五四八・二七	
嘉義	市			一〇、七九八・三〇	
新豐	郡			四、二八二・四五	
新化	郡			一、〇七六・三三	
新文	郡			八、二二九・六九	
會門	郡			一、五九二・九七	
北門	郡				

市郡別	献金拾圓以上ノモ	献金拾圓以下ノモ	計
新嘉坡	7,650.97	14,001.20	21,652.17
斗六	27,458.15	21,233.86	48,692.01
虎尾	3,449.89	6,696.03	10,145.92
北港	51,694.39	5,496.49	57,190.88
東石	197,198.88		197,198.88
產南			
合			

元費節約による献金

市郡別	献金拾圓以上ノモ	献金拾圓以下ノモ	計
新嘉坡	3,100.83	3,277.76	6,378.59
嘉南	11,072.33	8,212.35	19,284.68
新嘉坡	2,950.00	7,474.87	10,424.87
新嘉坡	6,334.00	5,355.00	11,689.00
曾文	7,754.00	6,153.00	13,907.00
北門	5,354.00	3,205.00	8,559.00
新嘉坡	9,750.00	10,317.00	20,067.00
合			

市郡別	献金拾圓以上ノモ	献金拾圓以下ノモ	計
新嘉坡	10,383.76	26,578.80	36,962.56
斗六	4,243.35	21,044.84	25,288.19
虎尾	6,748.98	3,645.00	10,393.98
北港	2,678.99	1,895.53	4,574.52
東石	17,145.00	19,246.03	36,391.03
利子	1,150.00	2,388.66	3,538.66
合			

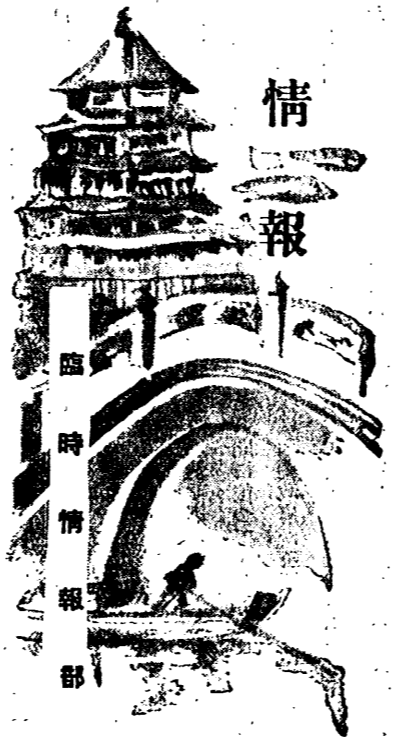
献金内訳

陸軍 二〇五、四六八・四八 國防献金 一四五、六九一・二三
 海軍 一二七、二九二・一七 國防献金 三五、〇三七・六〇
 陸兵金 五九、七七七・二五
 海兵金 九二、二五四・五七

三 紙類の消費節約断行

時局の進展に伴ふ物資の消費統制方策に順應すべく本州に於ては紙類の消費節約方針を決定し協力一致平素の濫費を防ぎ紙質の低下、廢物の利用再生を圖り以て徹底的に消費節約を断行することにせり。

海外情報



ホルネオだより

事變勃發以來既に一箇年を経過し、新聞・ラヂオを通じて知る祖國の緊張振りに今更ら乍ら祖國の偉大さを感じ、祖國を背景に生活する我等の誇りも又一人です。祖國あつての我々であり、此一箇年に受けた經濟的の打撃は相當深刻であり、痛痒を感じるが第一線の將兵の苦勞に比すれば殆んど問題でなく又假令排日貨が最高潮に到達し、一片のパンを得るに困難を感じやうとも最後の勝

利を確保する迄は死する事も辭せずの覺悟を懐いてゐる次第で、國を離れて祖國の有難味がひじく感じられる。支那本土でなく第三國の領土内の生活であり生命の危険は殆んど感ぜられず、只頑迷な華僑の大なり小なりの牽制氣味のボイコットは時折避面を作らせられる位で、これまでも最近餘程緩和された様である。此ボイコットの波を見てゐる皇軍〇〇地占領後は必ず襲來するもので、上海陥落後、南京陥落後、徐州陥落

後云つた様に其程度大きく殊に厦門の反響が今迄にな
い強烈であつた様である。此陥落が只陥落したと報ずる
ならばまだしも、世界の一流通信社ルーターアナタ等が
相當以上の粉飾を付し華僑の弛緩せんとする排日意識を
再燃させんとする心腹？ 悪ざい記事を掲げて居る様
である。厦門の如きは其最たるもので、當地華僑の出
身地が殆んど福建省なのでその反響は實に大きく、不素
言葉を交す支那人の顔色にも只ならぬものが讀み取れ
る。

其後一週を三週三ヶ月を経るに従つて真相が判明
して來るに先云つた事はすつかり口を拭つて知らぬ顔
である。今更乍ら宣傳の効果の偉大なるを考へさせられ
た。事毎にデマニユースを飛ばせばこれを打消すのに數
倍の努力をしなければならぬので其人心を動搖させるは
實に百分の効果でデマニユースなき暴露した處で元々だ
と云ふ様な支那人の圖太い心臓には實際我々の弱いセン
スでは測り知れない。臺兒莊と云ひ山西南部と云ひあ
の戦況は全くデマニユースだと思へない位巧妙を極めた

三二

もので、うっかりするに吊込まれる程である。
今當地では直接日支兩國民も本國への直接献金を蘭
印政府で認めない様であるが、これは表面だけで赤
十字の名目の下に毎週日曜日華僑は素晴らしい活動を續け
て居り、最近漸次歩調は亂れて來た模様である。果し
て我々が献じた金は本國へ送られてゐるのだらうか？こ
の疑念を懐き乍らも金品強要を拒み得ず（拒めば直ちに
店頭でコールタールを投入されるので）軽いあきらめに
流してしまふが、彼等に云はせるに「拒めば暴擧に出ら
れるし、出す金は實に惜しい、據所なくデマニユースに
でも儲積を晴して貰はなきや仕方が無いぢやないか」こ
れは一華僑の話であるが、之は確かに打算的な彼等の心
理を有力に物語つてゐる証左ではある。

次に第三國人の感情であるが、矢張りロイテル、アネ
タに支配された新聞に依つて決して對日感情は良好は
云はれない。殊に和蘭政府が英國の動向に或程度の協調
を續けてゐる以上、其動きも大なり小なり同じものぢや
ないかと思はれる。然し英國がエチオピアに對して採つ

た行動が小國をして英國依存の從來方針？ に或程度の
變更を餘儀なくせられ、自主防衛と云つた様な態度を採
つてゐるのではないかとも感ぜられ、最近の蘭印の派遣
軍艦の強化及び空軍の擴張もそれを物語つてゐるのでは
なからうか。兎に角蘭印は東洋の新事態に對して敏感で
あり着々その強化を圖つてゐる。従つて和蘭人の對日本
人感情も一種敬遠氣味であるのは必然であらう。之に反
して防共獨伊人の態度は實に明瞭で彼等は對日協調を
喜び、世界の平和はアンチコミンテルン、バクトの擴大
に依つて齎らされるのであり、お互ひに兩國民は益々結
成を堅くし此協定の精神の發揮に努力すべきであること
んでゐる。此兩國民の親善振りに對して他國民は一種の
羨望と反面に恐怖を感じてゐるかも知れない。

彼等が斯うした氣持を懐くに至つた原因は多々あるで
あらうが、宗教關係に支配されてゐる事が多い様であ
る。回々教はソ聯の政策は全然背馳し、同教の教義に
相容れないものがあり、此の點から出發したものと見ら
れる。神戸及び東京澁谷に回教禮拜堂の建立殊に東京の

それは日本國民の據金に依つて建設されたこと等、彼等
の對日本の感情を百分良好にした因をなしてゐる。

次に經濟狀況を見るに、唯一の物産ゴムの高値は折角
農村の邊鄙な地方にまで其インフレ景氣を浸潤しやうと
した矢先日支問題、歐洲獨逸問題と打續く國際的不安の
状態は遂に米國のゴム購入の掌控へみなつて現はれ、續
いて依然として生産過剰の爲一九三七年の上半期の高値
時代に比し約四分の一云ふ低落振りを示してゐる。當
市街の商店街も全く意氣消沈の状態である。日本人商店
のみならず、日貨を取扱はずしては經營困難を感じてゐ
る華僑及び土人商店も同様仲々樂觀を許さないものがあ
る。

斷末魔の武漢三鎮

防衛に名を藉り

公然と破壊工作

漢口よりの情報に依れば、軍事機關と共に漢口に殘留
した中央宣傳部、政治部、市政府等の七機關は上海事變

二三

一週年を機として武漢保衛宣傳運動委員會を結成し、十三日より運動を開始した。右は「保衛大武漢」のスローガンの下に支那の武漢保衛力を増強する爲あらゆる宣傳機關を總動員して武漢保衛に協力するを稱するものであるが、事實は資産家の財産強奪、有産階級男女をもつてする慰勞隊の強制組織、防衛に名を藉る諸種の破壊工作が公然と行はれることとなつた譯で、一方八月初めより頻りに移動潜入中だつた武漢防衛軍は去る六日夜より引續き市街戦の演習を行ひ、演習區域は日本租界全部、萬國競馬場、武昌城内の蛇山、漢陽鐵工廠がその中に含まれてゐるが、抗戦一周年を迎へて武漢三鎮は保衛武漢運動の展開と共に、工場労働者、人力車夫、女子労働者等に武装を強制するやら、武漢三鎮の監獄を一齊に開放し囚人に武器を與へて防衛の第一線に起したしめるやら、國民政府と共産黨とが事毎に對立したり、避難民の奥地撤退で混亂するやら、愈々斷末魔の狂的な様相を呈するに至つた。

瀕死状態の支那空軍

飛行場には機影を見ず

事變以來、わが荒鷲部隊の連續的渡洋爆撃、或ひは空中殲滅戦に徹底的惨敗を喫した支那空軍は、既に一千臺以上の飛行機を撃墜破され、今や全く機材、人材をも喪失し、その窮状は誠に哀れみ云ふ外ない状態である。

先頃わが空軍は廣東に連續的大爆撃を敢行したが、その時にも支那空軍には一機も迎へ来るものがなかつた程だ。之に對し支那空軍當局は次のやうに辯明した。

「支那空軍は爆撃機を防衛すべき戦闘機が不足のため、前線各地に進出することが出来ない。之が支那空軍當局が連日の廣東爆撃にも拘らず追撃機を派遣しない理由である。支那陸軍當局の意見によれば支那の空軍力貧弱のために飛行機は日本軍の空襲防禦上軍事上の要地に集結しなければならぬ。若し之を二分すれば漢口、廣東の何れを防禦するにも足りない。現状に於ては漢口防備のために集結する。」

だから南支の民衆は非常に憤慨し蔣政權を怨んだのだ。所で支那軍當局は無いのを無理して一心に飛行機を集めた。列國から購入したのも相當あるが、ひさびさになるまで我が軍に撃墜されたイー十五型、カーチスフォーク三型、グラヂェーター等を修理補充したこのことだ。かうしてやつと六十機程漢口附近に集結する事が出来たのであらうが、それも四五日前の空襲で殆んど殲滅的打撃を受けて了つた。去る八月九日吉安飛行場を爆撃した時も、空中地上共に敵機を認めなかつた位だ。

飛行機は未だ何とかなるかも知れないが、困つたのは之を操縦する戦闘員だ。人員は少いし、技術は拙劣だし、戦意はなし、ミ云つて外國のパイロットは當てにならぬいし、全く憔悴たる状態である。

最近支那空軍窮状の一端として次のやうな話が齎された。

◆その一は去る七月末漢口の中央航空學校では飛行士の増加を圖るため大々的に大募集を行ひ入學試験を施行したが、應募者が殆どなく、空軍の將來は益々悲觀視されるに至つた。そこで中央政府では自動車

運轉手や機械をいぢりつけて居るエンジニアを集め大箇月間猛訓練を行つた上速成飛行士として飛行隊に入隊せしめる事に決定、急遽運轉手符集めに奔走して居る。又ソ聯から供給される優秀なる重爆撃機は現在支那に生残つて居る技術の下手な支那軍飛行士には全然操縦出来ず、折角購入した飛行機も飛ぶ事が出来ぬと云ふ仕末で、之に對しても中央軍は大慌てで五百名の青年を訓練中である。

◆その二は紐育の華僑中に愛國運動の頭目として權力を揮つて居た王存珍は幾頃から戦費、献金の募集に盡力し同地の支那人村から莫大な金を集め之を香港に齎す爲二十九日紐育發ハワイ・クリッパバーに塔乗した所、途中飛行機が墜落、王は大金を懐にしたまま、無残な惨死を遂げて終つた。此のニュースは直に紐育支那人村に達したが、華僑達は此の偶然の惨事に對して時節柄極度に疑惑の目を向け背後關係等に對して目を光らして居る。

◆その三は金儲けの的は外れ一文なしで漢口から香港へ逃げて来たといふ英國青年飛行士の話――



島

一 基隆華僑新民公會の

水災見舞金贈出

同會に於ては過般の阪神地方大水災に對し慰問の意を表する爲め、見舞金贈出方計劃中の處七月二十二日大阪府知事及兵庫縣知事宛見舞狀に添へ各五十圓を送付した。

二 基隆華僑新民公會の

廈門皇軍慰問團派遣

明朝廈門建設に邁進せる皇軍並に復興委員會、總領事館、警察隊を慰問且つ感謝の意を表する爲め同會何顧問、宋、劉兩副會長以下四名を派遣するこゝになり皇軍慰問金八百圓及新鮮なる野菜果實を携へ八月十四日基隆

發便船にて渡厦した。

三 臺北華僑新民總會の印刷物配付

同會に於ては「告我旅臺親愛同胞兄弟書」を印刷の上全島各地の新民公會を通して在臺華僑に配付し金貨印、貯蓄運動等我が國策の線に沿ふ様努めた。

四 臺南華僑新民公會の

我が貯蓄報國への協力

我が非常時國策に順應する爲豫て會員のみに依る報國貯金會を計劃七月二十八日會員募集を終了せるが應募人員は十四名總金額一萬二百圓に達し之を三年乃至五年にて日割貯蓄を行ふこゝに之が取纏方を臺灣貯蓄銀行に依託した。

五 臺南華僑慰問金を募る

皇國の濫き庇護の下に安穩の日々を送つてゐる臺南華僑新民公會では有難き皇恩の萬分の一にでも報いるこゝろありたいここの程より會長張相等の手で具體案を考究

中であつたがさし當り島内日刊紙で目下第二回の募集中將兵慰問金寄附に應ずるこゝになり十六日より直に募集に取りかゝつた。

六 高雄華僑新民公會

副會長陳嘉遂の感想

「部報」を全島の華僑新民公會に送付せるに關し高雄公會副會長は次の如く語つた。
總督府の情報部は我々在臺華僑に時局に對する認識を高める爲贈呈して呉れたと思ふが複雑なる今日の世相に於て一條の光明を與へて呉れるもので感謝の外はない。何れ役員に其旨を傳達し該部報を廣く愛讀せしむる積りである云々

一 長崎在留華僑

蔣に下野勸告

長崎華僑民團では維新政府樹立と共に逸早くその傘下に馳せ參じ親日防共の旗印を明にしたが上海事

變一周年に當り十三日正午から民團事務所に幹事會を開き左の意味の蔣介石下野の勸告文を滿場一致決定し直に蔣介石に宛て發送の手續を取つた。

(前略) 貴下は日本の眞意を解せず日本の實力を輕視して歐米依存の惡夢に心酔し國共合作の下に抗日救國の俘囚となり今や國を擧げて赤化勢力の奴隸たらしめんとしつゝあり。支那の天下は支那國民の天下にして貴下一人の天下にあらざる事を自認せらるゝと共に暴政の膝下に蠅蟻の如く蹂躪せられたる我々支那及民衆もはや貴下に盲從しこれ以上の慘害を隱忍し得ず。貴下と相反するこゝ既に遠きものあるを意識せられて宜しく決然起つて牙を収め下野を執行すべし。右長崎在留全華僑の名に於て敢て勸告す。

二 朝鮮在留華僑の反蔣運動

京城駐在中國總領事范漢生は中國軍閥の黄河の決潰の暴舉を難じ中國四億民衆の爲速に蔣政權を打倒する要があるを爲し、廣東、漢口等に於ける中國人有力團體及朝

鮮内各地華僑團體宛六月十八日反蔣聲明を發した。

三 朝鮮黃海道

中華新民聯合會の反蔣聲明支持

前記の如く范漢生總領事の反蔣聲明の發表ありたることを知りたる右聯合會に於ては六月十九日臨時幹部會を開催協議の結果即時范漢生宛反蔣聲明絕對支持の通文を發するに共に道内各郡新民會宛に同通文寫を送付した。

四 朝鮮宣川僑胞公議會の

反蔣警告文發送

朝鮮平安北道宣川郡宣川邑所在僑胞公議會に於ては六月十九日臨時役員會を開催支那軍の黄河決潰に對する在留僑民として蔣政權打倒の方法を決すべく協議の結果左記譯文の如き警告文を決定同月二十六日在鮮中國各公館、華僑各團體各新聞社等宛夫々發送した。

鮮内に居留せる華僑一同に警告す

敗逆無道なる蔣介石中華四億の民衆を塗炭の苦に置き、て顧みず未だ大日本帝國東洋平和の大義に立脚せるを悟らず西洋人の奸計に惑はされ昨年七月七日蘆溝橋事件を惹起してより自ら長期抗戰を構へて百戰百敗し遂に自滅の窮境に至り今や最後の策として四千年の帝王の遺業たる黄河の堤防を決潰し中原の沃野千里を泥濘と化さしめ中華二十餘萬の同胞を濁流魚腹に葬る。蔣家一族の慘忍無道なる正に神人共に怒り山河疾視し宇宙の間に容る可からず。嗚呼惟ふに我が鮮内に居住せる華僑一同は公憤に激起し中華四億民衆と相呼應し鼓を鳴して蔣介石の殘忍を攻め鐸を叩きて日本帝國の大義援助に乗出すべし。

一つには中華民族の安樂を圍り二つには東洋平和の大業を計る。三つには西洋人の侵略を排除すれば即ち東洋民族の曙光に至る。

惟ふに我が宣川居留民公議會は公憤に堪へず之の數字を以て鮮内華僑一同に警告す

須く華僑一同異口同音之の主旨に賛同し中華民族を警醒し蔣家の敗逆を排撃せば幸甚なり。

昭和十三年六月 宣川滿華僑民公議聯合會 白

五 陳嘉庚難民救濟委員長を辭める

(英領馬來)

昨年八月支那本國の要請に基き英領馬來各地在住の華僑から戰禍難民救濟資金募集の名目を以て結成された難民救濟委員會の會長として獻金募集に奔走しつゝ、あつた陳嘉庚は近く西貢及支那へ旅行するに云ふ理由の下に右會長及び愛國公債募集委員長を辭職した。然しその裏面には左の如き複雑の意味が藏されて居るものと見られる。

- 一、同委員會内部に於ては常に幹部が對立して内紛が絶えず露骨な勢力争ひが續けられて居た事
- 二、本年に入つて募金成績が全く不振に陥り到底所期の目的を達成し得られぬ事
- 三、半強請的獻金の德悪に華僑の反感が高まりつゝ、ある事

5. ソ聯側の増長益々甚だしく本日又新に不法越境陣地構築の沙草峰事件を惹起し我が軍の爲撃退せられたり。

6. 駐日ポーランド大使は既駐日滿洲國大使並に我が外務省を訪問「滿洲國正式承認」の意を明かにせり。

七月三十日

1. 江北に作戦中の我が軍は遂に宿松包圍態勢を完成し愈々殲滅戦を展開せんしつ、あり。
2. 九江及び廬山の中間山岳地帯に據れる頑敵を撃退しつ、ある我が軍は遂に廬山登山口たる蓮花洞を確保完全に蒋介石の抗日策源地の死命を制せり。
3. 敵は漢口東部戦線の全面的敗北に狼狽、新に廣濟武穴、瑞昌、德安、南昌の線を以て東部に於ける漢口防衛の絶対抵抗線となし陳誠を總司令に任命防備強化に躍起となり居れり。
4. 九江占領後我が軍は積極的に第三國人の保護に乗り出すこととなり。これ等避難外人に食料品、日用品等を飛行機にて配給多人の感謝を受けつ、あり。

數を爆沈せり。

3. 敗戦に焦慮狂奔せる國府軍は九江上流約十里干湖附近の堤防を破壊せるも我が軍の作戦には何等の支障なく却つて自國民を濁流中に叩き込むの結果となり。
4. 張鼓峰方面に於てソ聯機の不法越境爆撃事件あり我が方これを五機撃墜せるも本件に關しては帝國は飽くまで不擴大主義を以り今後のソ聯の態度を嚴重に監視しつ、あり。
5. 中華民國臨時政府駐神戸僑務辦事處の開處式華々しく舉行せられたり。

八月二日

1. 黃梅占領！

我が軍遂に黃梅を占領江北第一線の敵西方據點を完全に撃滅せり。

- (尙ほこれより漢口までは僅か三十六里の距離なり)
2. ソ聯部隊は兵約一大隊及び戦車九臺を以て張鼓峰に逆襲し來れる外更に補隊飛行を以て閩門江右岸朝

三四

七月三十一日

1. 我が海軍航空隊は九江上流に於て敵砲艦三隻及び軍需品搭載のジャンク十數隻を爆撃粉砕せり。
2. 二十九日以来相對峙中の我が軍は度重なるソ聯の不法挑戦に已むなく遂に應戦、張鼓峰、沙草峰附近一帯の滿洲國領土を回復せり。
2. 最近揚子江上流奥地に大豪雨あり爲に大増水を來し國民政府の遁走先なる重慶は早くも濁流に見舞はれ漢口も亦新なる水禍の危機に直面し居れり。

八月一日

1. 界嶺占領——宿松占領！

- 湖北省境に作戦する我が軍の意氣正に天を衝くが如し。
2. 我が空軍部隊の活躍
1. 陸の軍——黃梅附近の敵を猛爆更に西方廣濟に向け敗走中の敵を痛撃せり。
2. 海の荒鷲——蕪春水道、田家鎮、黃石港、黃岡等に於て卑劣にも第三國々旗を詐用する敵艦船多

鮮領に越境し古城方面に爆弾を投下せり。

八月三日

1. 懼れ多くも 天皇陛下には時局の上に深く大御心を垂れさせ給ひ金總動員の國策に御率先遊ばさる、思召しを拜し眞に恐懼感激に堪へたる次第なり。
2. 燦たり我が海の荒鷲
天長の佳節以來の漢口大爆撃を敢行、敵三十二機を撃墜、地上七機を爆破して敵に致命的損害を與へたり。我方も二機未だ歸還せず。
3. ソ聯軍執拗に張鼓峰、沙草峰方面に攻撃を繰返しその都度我が軍の偽撃退せられ居れり。
4. 皇軍破竹の進撃に驚愕せる蒋介石は最早自軍の戦鬪力に自信を失ひ早くも武漢放棄中央軍の全面的後退論等擧頭し居る模様なり。

八月四日

1. 我が海軍航空隊は南昌驛及び贛州、黃石港附近にて軍需品満載の戎克十數隻を粉砕せり。
2. 我が重光大使はソ聯外務人民委員リトヴィノフ氏

三五

